

# 専門家に聞いた!

## 5G 5つのギモン



私たちの生活を一変させる技術として期待が膨らむ5G。  
4Gとの違いや、気をつけるべきポイントなど、  
本格的な普及を前に知っておきたい基本的な知識から心構えを亀井氏に取材した。

**Q** 4Gと5Gの違いとは?  
5Gになると、どんなメリットがあるの?



**A** 超高速・大容量・低遅延  
多数同時接続がカギ

5Gのメリットとして筆頭に挙げられるのは、4Gと比較して「10倍以上の超高速・大容量」や「10分の1となる超低遅延」です。一般のユーザーがスマートフォンで動画を楽しんだりする分には、これほどのスペックが絶対に必要というわけではありません。しかし、つながる先が「人」ではなく「機械」となれば、5Gのハイスペックが大いに生かされます。

p4で紹介したMRグラスや高性能なスマートフォン

のように、5G時代には各種センサーから取り込んだ情報をクラウド上でやりとりするデバイスが増えています。膨大な量のデータが行き来するため、通信はより大容量で、高速であるほど望ましいのです。

もうひとつ、5Gの大きな特徴が「多数同時接続」。1万台程度の端末が同時にアクセスできます。これも、一般ユーザーの利用というよりは、あらゆる場所に埋め込まれたセンサーから通信でデータを収集するという用途を想定していますが、スポーツ観戦やライブ会場などでも力を発揮。別視点から撮影した映像をユーザーの手元のデバイスに配信することで、その場の価値をより高めるといった取り組みが注目されています。



**Q** 5Gがスタートすると  
通信料金はどう変わるの?

**A** 大容量プランがお得に  
端末はますます高額化

日本に先駆けて5Gがスタートした韓国で、いち早く5Gプランに移行したユーザーは、莫大なデータ通信を行うヘビーユーザーでした。彼らが5Gに乗り換えた理由は、5Gでしかできないサービスがほしいからではなく、料金が安いから。通信キャリアもそれを狙っているため、5Gがスタートしてしばらくは、ヘビーユーザーをターゲットにした大容量プランがプッシュされていくでしょう。ライトユーザーには5Gに移行する魅力が

乏しく思えるかもしれませんが、将来的には多様なサービスやプランが出揃うはず。また、5G時代には端末から「アップロード」されるデータ量が増えるため、自分ではあまりデータ通信を使わないと思っても、それなりのデータ量が必要になってくるかもしれません。

昨今は、10万円を超えるスマートフォンも珍しくありませんが、ハイスペック化が進む中、端末はますます高額になるでしょう。もっとも、外部ディスプレイやプロジェクトンキーボードと組み合わせれば、いまやスマートフォンはノートPCと同等の仕事をしてくれます。一度「携帯電話」という捉え方をリセットすることも必要なのではないのでしょうか。